

7/1 五

大軍拡勝手に宣言

〔マドリード＝石橋セイジ〕 岸田文雄首相は主要7カ国(G7)、北大西洋条約機構(NATO)両首脳会議(サミット)出席の日程を終え、30日午後に欧州から帰国しました。ロシアによるウクライナ侵略が主要議題となる中、「軍事対軍事」の流れにのり、大軍拡を次々に表明しました。

岸田首相は29日のNATOサミットで、年末までに「新たな国家安全保障戦略」を

財源説明一切なしの無責任

策定する予定で、「日本の防衛力を5年以内に抜本的に強化し、その裏付けとなる防衛費の相応な増額を確保する決意だ」と宣誓しました。

また、G7サミットに先立つて岸田首相は、ドイツ紙フランクフルター・アルゲマイネ(26日)に寄稿し、ドイツが国内総生産(GDP)比2%への国防費引き上げを表明したことを挙げ、「日本の防衛力の抜本的強化」に言及。

日本共産党は財源について、「消費税増税か社会保障削減にならざるを得ない」と指摘し、軍拡中止を求めてい

る」を表明しました。

これほどの流れも、軍事費を「5年以内にGDP比2%以上(二つ倍)」を目標とする自民党的参院選公約を念頭に置いたものです。首相は